

2021年10月28日

お客様各位

日本農薬株式会社

**農薬登録のご連絡の件**

前記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

**記**

・適用拡大 2021年10月27日付（3件）

(1) ブイゲットアドマイヤー粒剤

登録第 21053 号

①使用量の追加：稲(箱育苗)/高密度には種する場合は 1 kg/10a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5ℓ)1 箱当り 50～100g)

 ②チアゾニルを含む農薬の総使用回数表記変更：3 回以内(育苗箱散布及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布は 2 回以内)  
 ⇒3 回以内(移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布は 2 回以内)

**【変更後】**

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イタクロフロリドを含む農薬の総使用回数	チアゾニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネミスゾウムシ イネドクイムシ ツマグロヨコバイ ウンカ類 イネヒメハモグリハエ イネアザミウマ 白葉枯病 もみ枯細菌病	高密度には種する場合は 1 kg/10a (育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5ℓ) 1 箱当り 50～100g)	移植2日前 ～移植当日	1 回	育苗箱中の苗の上から均一に散布する	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布は 2 回以内)	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布は 2 回以内)
		育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5ℓ) 1 箱当り 50g					
	内穎褐変病	高密度には種する場合は 1 kg/10a (育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5ℓ) 1 箱当り 50～100g)	移植当日				

**【変更する注意事項】**

・育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約 5ℓ)1 箱当りに乾糶として 200 から 300g 程度を高密度には種する場合は、10a 当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が 1kg/10a までとなるよう、育苗箱 1 箱当りの薬量を 50 から 100g までの範囲で調整すること。

**(2) ブイゲットハコレンジャーL粒剤**

登録第 24233 号

使用量の追加: 稲(箱育苗)/高密度には種する場合は 1 kg/10a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5ℓ)1 箱当り 50~100g)

**【変更後】**

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲(箱育苗)	いもち病 紋枯病 白葉枯病 もみ枯細菌病 イネミズウムシ イネトオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ ニカメイチュウ イネツトムシ フタホヒコヤガ	高密度には種する場合は 1 kg/10a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5ℓ) 1 箱当り 50~100g)	緑化期~ 移植当日	1 回	本剤の 所定量を育苗箱 の上から均一に 散布する
	内穎褐変病		移植 3 日前 ~ 移植当日		

クワントラニプロールを含む農薬の総使用回数	トリフルメゾピリムを含む農薬の総使用回数	チアゾニルを含む農薬の総使用回数	チルガシドを含む農薬の総使用回数
1 回	1 回	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布は 2 回以内)	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)

**【変更する注意事項】**

- ・育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約 5ℓ)1 箱当りに乾粒として 200 から 300g 程度を高密度には種する場合は、10a 当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が 1kg/10a までとなるよう、育苗箱 1 箱当りの薬量を 50 から 100g までの範囲で調整すること。

**(3) ハコガード粒剤**

登録第 24356 号

使用量の追加: 稲(箱育苗)/高密度には種する場合は 1 kg/10a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5ℓ)1 箱当り 50~100g)

**【変更後】**

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲(箱育苗)	いもち病 紋枯病 白葉枯病 もみ枯細菌病 イネミズウムシ イネトオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ ニカメイチュウ イネツトムシ フタホヒコヤガ	高密度には種する場合は 1 kg/10a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5ℓ) 1 箱当り 50~100g)	緑化期~ 移植当日	1 回	本剤の 所定量を育苗箱 の上から均一に 散布する
	内穎褐変病		移植 3 日前 ~ 移植当日		

クワントラニプロールを含む農薬の総使用回数	トリフルメゾピリムを含む農薬の総使用回数	チゾニルを含む農薬の総使用回数	チルザミドを含む農薬の総使用回数
1 回	1 回	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布は 2 回以内)	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)

**【変更する注意事項】**

- ・育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約 5ℓ)1 箱当りに乾粒として 200 から 300g 程度を高密度には種する場合は、10a 当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が 1kg/10a までとなるよう、育苗箱 1 箱当りの薬量を 50 から 100g までの範囲で調整すること。

以上